

第3学年3組 体育科学習指導案

1 単元名 ハンドベースボール

2 運動の特性

ティーに乗せたボールを素手で打ち、ベースを回って得点したり、アウトサークルに素早くボールを運んで相手の得点を防いだりして、攻守を規則的に交代しながら勝敗を競うことが楽しい運動である。

3 児童の実態 (男子13名 女子11名 計24名)

(1) 知識・技能の状況について

本学級の児童はボールを使った運動の経験が少なく、ベースボール型のゲームは初めて行う。また、実態調査で基本的なボール操作の技能が低い児童が多いことがわかった。打つ技能に関しては、フェアグラウンドの外に打ってしまったり、目の前に弱いゴロを転がしてしまったりする姿が見られた。また、ボールの上部を打ち、目の前に落ちてしまい飛距離が出ない児童も多く、全体的に打つ技能が低いことがわかった。捕る技能に関しては、ボールの正面に入らず手を伸ばして補球したり、正面に入ってもキャッチできなかつたりする姿が見られた。これらの基本的なボール操作の技能が身に付いていない要因として、ボールを使った運動遊びの経験が少ないことが考えられる。

(2) 思考・判断・表現の状況について

「自分に合っためあてをもつことができますか。」という質問に対し、およそ4割の児童が「自信がない」と答えた。低学年の体育学習において課題解決学習の経験が少なく、自分に合っためあてを立てたり、振り返りをしたりする習慣が確立していないことが原因と考えられる。友達と協力する態度については、「誰とでもできる」と答えた児童はおよそ6割程度であった。また、「学習で困ったときは先生に聞く」という児童が多かった。本単元では、チームスポーツの特性を生かし友達と励まし合ったり、アドバイスし合ったりして、運動することの楽しさを十分に味わわせていく必要がある。「みんなが楽しく学習するために大切なことは何ですか。」という質問では、「ルールを守ること」「けんかをしないこと」「協力すること」などが多く挙げられた。しかし、試しのゲームでは得点やルールについてもめたり、自分のチームが勝つために都合よくルールを解釈してしまったりする姿が見られた。ルールをわかりやすくすることや勝敗を受け入れる態度を養っていくことが、学習を楽しむことにつながるということがわかった。

(3) 主体的に学習に取り組む態度の状況について

体育学習に関しては、全員が肯定的である。しかし、1名の児童が「けんかになるから嫌だ」という理由でボール運動を楽しめないと感じている。実態調査で試しのゲームを行い、その感想を聞いたところ、大部分の児童が「打つこと」「得点すること」に楽しさを見出していた。一方で、けんかしたときやルールを守らないときに楽しさが損なわれてしまうこともわかった。試しのゲームでも、多くの児童が規則について言い合いをしてしまう様子が見られた。また、学習で目指したい姿として、9割以上の児童が遠くまでボールを飛ばすことや、たくさん得点することを願いとしてもっていることがわかった。

4 研究の視点と学習の手立て

(1) 市教研体育部の研究主題

生涯にわたって健康を保持増進し、運動に親しむ子どもを育てる体育学習

(2) 研究の視点と手立て

視点1 課題を見付け解決できる学習過程の工夫と指導内容の明確化

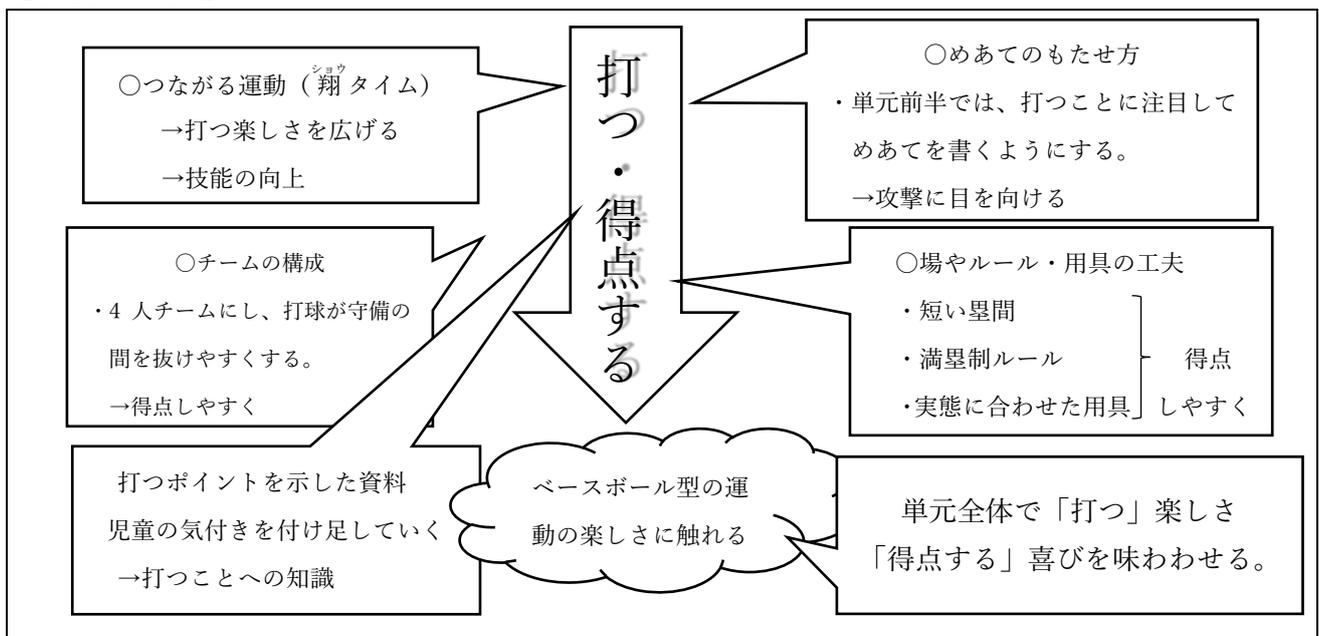
<手立て>

○指導内容を明確にした学習過程

本単元は、本学級の児童にとって初めてのベースボール型のゲームであるため、まずは運動のもつ「楽しさ」を十分に味わわせたい。そのために、児童の願いを大切にしたい指導内容を考えること、また身に付けさせる技能や思考を明確にすることが必要だと考える。本学級の児童は、ハンドベースボールの学習を通して「打てるようになりたい」「得点したい」という思いを強くもっており、打つことに楽しさを見出している。しかし、実態調査の試しのゲームでは、手の平や拳でボールを打つ経験が少ないこともあり、得点に結び付かないことが多かった。また、本学級の児童の技能差に対し、ベースボール型のゲームに必要な「打つ」「捕る」「投げる」といったボール操作の技能の複雑さが、楽しさを損なう原因になると考えられる。

そこで、単元全体を通して児童の願いである「打つ」ことを中心に学習を進めていく。ベースボール型ゲームの楽しさを存分に味わわせるために、打つ技能を高めるつながる運動（翔タイム）、チーム構成の工夫、資料の工夫、めあてのもたせ方の工夫、場や用具・ルールの工夫など、様々な視点から打つこと・得点することに目を向けさせる。「打つ楽しさ」「得点する喜び」を味わわせ、単元を通して指導内容を明確にしていくことで、児童は初めてのベースボール型のゲームに主体的に取り組めるだろうと考える。

【本単元の構想】



【翔タイムの内容と教師の言葉かけ例】



翔タイム	活動内容	身に付けさせたい力（・）と教師の発問例（→）
全力バッティング	<p>チームで行う。打者は3回連続で打つ。チームの2人がボールを捕球する。残った1人は打者へのアドバイスや言葉かけ、補助を行う。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・安定してボールに当てることができる。 →ボールの中心を打つようにしよう。打つときはどこを見ればいいかな。 ・正しい姿勢で打つ。 →足を置く位置は？おへそがどっちを向いているだろう。 ・こぶしや掌の堅いところを使い、力強く打つ。 →打つのが上手な人の、打つときの手を見てみよう。ここで打っているかな。 ・腰を回して力強い打球を打つ。 →強い打球を打つためには、どんなことを意識するといいいかな。腕だけで打つと力が入らないね。
ねらってバッティング	<p>「全力バッティング」の際に、ねらって打つことを意識する。打つ方向を言ってから打つようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体の向きを変えて、打ちたい方向をねらう。 →打ちたい方向に打つには、どうしたらいいかな。 ・相手の守備隊形やチームの特徴に応じた打ち方を考える。 →相手の守備に対して、どこをねらうといいかな。 →相手守備にキャッチが得意な人がいるときはどうしよう。

視点2 運動の楽しさや喜びを膨らませる関わり合いの工夫

〈手立て〉

○場やルールの工夫

前述のとおり、実態調査からボール操作の技能に大きな差があることがわかった。そのため、はじめはなるべくわかりやすく、かつ能力差に関わらず誰もが今もっている力でゲームを楽しむことができるような場やルールの設定をする必要があると考える。そこで、以下のように場やルールを設定した。

得点する楽しさを味わう満塁制

得点をすることに楽しさを見出している児童が多いことから、少しでも多く得点のチャンスをつくりたいと考えた。そこで、常に満塁で攻撃を行い、ホームベースまで走塁した人数を得点とする満塁制ルールを設定する。これによって、自分が打者として得点する（打点）だけでなく、味方の打撃のときに走者としても得点する喜びを味わうことができる。また、チームとしての一体感を感じられること、運動量を確保できることなどの効果が期待できると考えた。

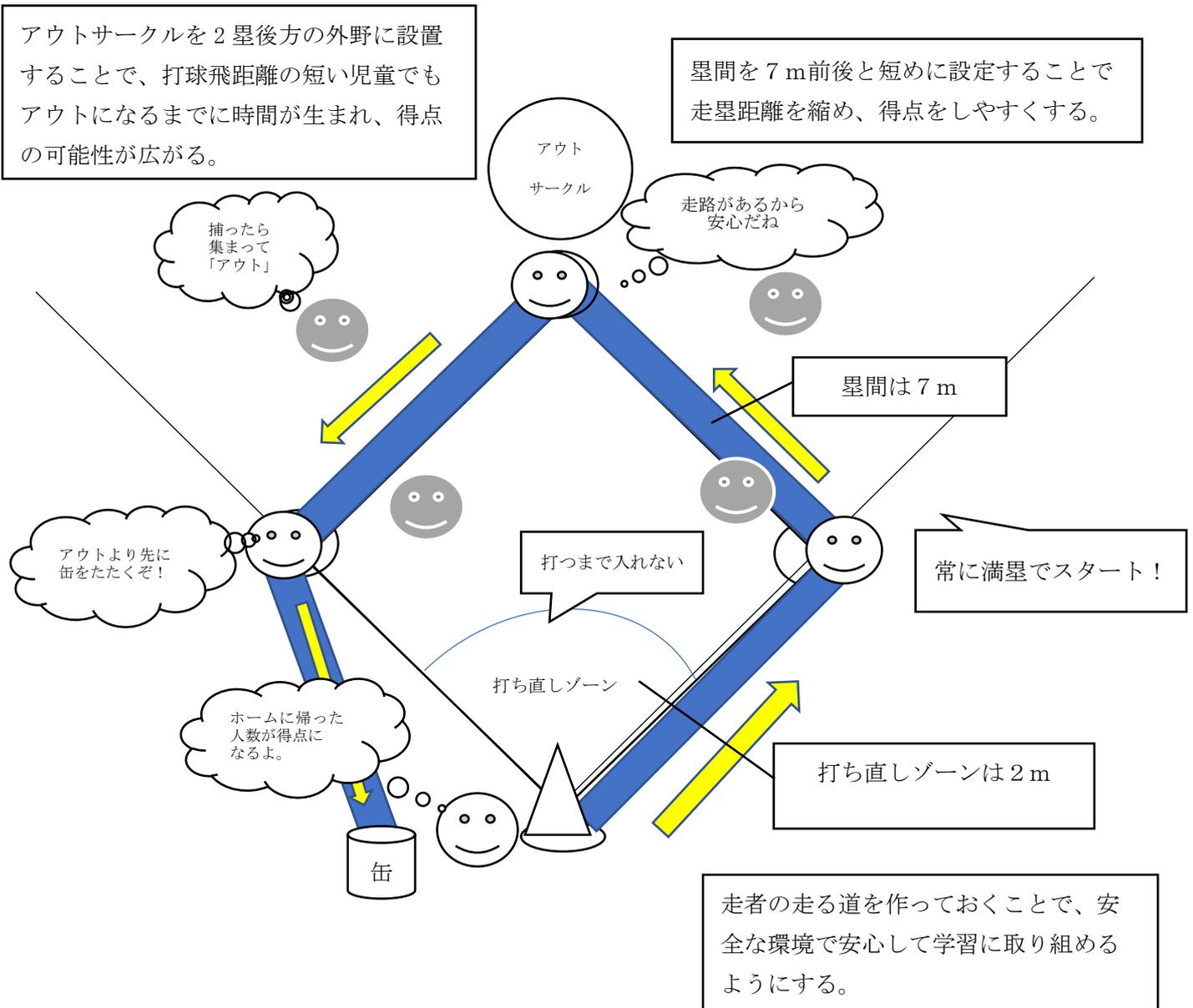
判定をわかりやすくするアウトの取り方

守備側が捕球したら、アウトサークルに全員で集まり「アウト」と声を出すことにする。一方で、攻撃側はホーム付近に置いた缶を叩き、得点とする。音を鳴らすことで、得点が入ったことをわかりやすくしたいと考えた。これらのわかりやすいルールにより、得点するのが早いか、アウトが早いかなというせめぎ合いを楽しむことができるだろう。



【ホーム付近に置く缶】

〈場の図〉



※学習を進めていく中で、塁間やアウトサークルの位置など、児童の変容に合わせて適宜調整する。

5 単元の目標

- (1) ハンドベースボールの行い方を知るとともに、易しいゲームをすることができるようにする。
(知識及び技能)
- (2) 自分の力に合っためあてを立てたり、動きについて考えたことを友達に伝えたりすることができるようにする。
(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 運動に進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲良く運動したり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。
(学びに向かう力、人間性等)

6 評価規準

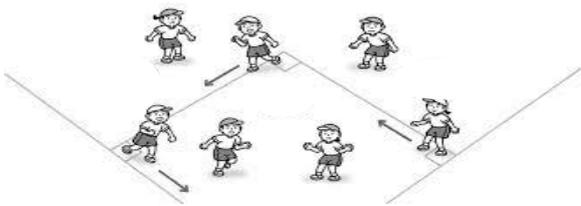
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①ハンドベースボールの行い方を知るとともに、易しいゲームをしている。 ②ボールをよく見て、フェアグラウンド内に打つことができる。 ③ベースに向かって全力で走り、かけ抜けることができる。	①自分の力に合っためあてを立てている。 ②友達の動きのよさを見付けたり、考えたことを友達に伝えたりしている。	①ゲームに進んで取り組もうとしている。 ②規則を守り、誰とでも仲良くしようとしている。 ③ゲームの勝敗を受け入れようとしている。 ④場や用具の安全を確かめようとしている。

7 指導と評価の計画

	1	2	3	4	5 (本時)	6
学習のねらい	ねらいを知り、学習過程への見通しをもつ。	打つ楽しさや得点する喜びを味わい、ベースボール型のゲームを楽しむ。				
0 ↓ 4 5	オリエンテーション ・学習過程や約束の確認 ・準備や片付けの仕方の確認 ・安全面についての確認 ・ルールやマナーについて確認 ・試しのゲーム	準備運動				
		翔タイム (つながる運動)				
		やさしいルールでハンドベースボールを楽しもう。				まとめ
知・技		① (観察・カード)	② (観察)	③ (観察)	② (観察)	
思・判・表				① (観察・カード)		② (観察・カード)
態度	④ (観察)	② (観察)	① (観察)		③ (観察)	② (観察)

8 指導計画 (本時 5/6)

	学習内容と活動	教師の指導・支援 (○) 評価 (◇)
はじめ	<p>【オリエンテーション】</p> <p>1 学習のねらいや運動の行い方を知り、今後の学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習のねらい ・学習の約束 ・安全面の確認 ・場の準備、片付けの仕方 <p>2 投げ方や捕り方、打ち方の基本動作を知り、準備運動やつながる運動の行い方を知る。</p> <p>〈準備運動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主運動に必要な箇所のストレッチ ・翔タイム <p>3 ルールについて知る。</p>	<p>○学習カードと同じものを拡大で用意し、大事な点を全体で共有できるようにする。</p> <p>○用具の使い方を一つ一つ確認しながら指導する。</p> <p>○資料を見ながら、「打つ」「捕る」といった基本的なボール操作のポイントを丁寧に確認する。</p> <p>○チームで協力して準備運動を行えるように声をかける。</p> <p>○主運動に必要な体の部位を丁寧にストレッチするように声をかける。</p>
	<p style="text-align: center;">〈基本のルール〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1チーム4人 ・試合は2回の表裏。打順が一巡したら攻守を交代する。 ・アウトサークルにボールと守備の全員が入り、「アウト」と言ったらアウト ・攻撃側はいつも満塁から始める。 ・打者が打ったら攻撃側は全員走塁し、ホームまで走塁した人数が得点になる。 ・判定がわからないときは、じゃんけんをする。 	
	<p>4 試しのゲームを行う。</p> <p>5 学習カードの使い方について理解する。</p>	<p>◇場や用具の安全を確かめようとしている。</p> <p style="text-align: right;">【態度④】</p>
なか	<p>1 学習の場づくりをして、準備運動をする。</p> <p>○協力して場づくりをし、ストレッチやつながる運動を行う。</p> <p>2 翔タイムを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全力バッティング ・ねらってバッティング <p>3 本時のめあてやねらいを確認する。</p>	<p>○けがをしないよう、ストレッチを十分に行う。</p> <p>○協力して素早く準備ができるように声をかける。</p> <p>○資料を確認したり、友達と教え合ったりしながら活動するように声かけをする。</p> <p>○十分に打てない児童には、個別に必要な助言をする。</p>
	<p style="text-align: center;">やさしいルールでハンドベースボールを楽しもう。</p> <p>【めあての例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ボールをよく見て遠くへ飛ばす。」 	<p>○個人のめあてがなかなか立てられない児童には、資料を確認するよう声をかける。</p>

<p>なか か 1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「腰を回して遠くにボールを打つ。」 ・「手をグーにして強いボールを打つ。」 ・「相手のいないところをねらって打つ。」 ・「速くベースを回って得点する。」 <p>4 やさしいルールでゲームを楽しむ。</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">〈基本のルール〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1チーム4人。 ・試合は2回の表裏。打順が一巡したら攻守を交代する。 ・アウトサークルにボールと守備の全員が入り、「アウト」と言ったらアウト。 ・攻撃側はいつも満塁から始める。 ・打者が打ったら攻撃側は全員走塁し、ホームまで走塁した人数が得点になる。 ・判定がわからないときはじゃんけんをする。 </div> <p>5 学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○チームや個人のめあては達成できたか。 ○友達のよい動きを見付けられたか。 ○気付いたこと、見付けた課題などを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の振り返りが本時に生かされているか、回って確認する。 ○これまでに出てきたゲームでの反省点や、こつなどを全体で確認しながら進める。 ◇自分の力に合っためあてを立てている。 【思・判・表①】 ○安全面に気を付けるよう声をかける。 ○よい声かけをしているチームを称賛する。 ◇ボールをよく見てフェアグラウンド内に打つことができる。 【知・技②】 ○試合間に2分程話し合いタイムを設けて、チームの攻め方や守り方を修正できるようにする。 ◇ベースに向かって全力で走り、かけ抜けることができる。 【知・技③】 ○ルールやマナーを守り、励まし合っているチームを称賛する。 ○「ナイスプレー」「ドンマイ」などチームを盛り上げる声のかけ方を共有する。 ◇規則を守り、誰とでも仲良くしようとしている。 【態度②】 ◇ゲームの勝敗を受け入れようとしている。 【態度③】 ◇ゲームに進んで取り組もうとしている。 【態度①】 ○友達のよい動きやフェアプレーを認め合う姿を称賛する。 ◇ハンドベースボールの行い方を知るとともに、言ったり書いたりしている。 【知・技①】 ○よい動きをした友達を「今日のナイスプレー」として紹介して、よさを認め合う雰囲気を作る。
<p>1</p>	<p>1 学習の場づくりをして、準備運動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○協力して場づくりをし、ストレッチやつながる運動を行う。 <p>2 本時のめあてやねらいを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○けがをしないよう、ストレッチを十分に行う。 ○協力して素早く準備ができるように声をかける。

<p>チームで練習してきたことを生かして、ABC（有吉ベースボールクラシック）を行おう。</p>	
<p>な か 2</p>	<p>【めあての例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「相手のいないところをねらって打つ。」 ・「得点を取られないよう素早くアウトにする。」 ・「励ましの声でチームを盛り上げる。」 <p>3 有吉ベースボールクラシックを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3試合行う。 ・ 2つのリーグに分けて行い、それぞれのリーグで順位をつける。 ・ 基本的なルールはこれまでと同様。 ・ 組み合わせは、当日にくじ引きで行う。 </div> <p>4 学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○チーム、個人のめあては達成できたか。 ○友達のよい動きを見付けられたか。 ○気付いたこと、見付けた課題などを確認する。
<p>ま と め</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでに出てきたゲームでの反省点や、こつなどを全体で確認しながら進める。 ○安全面に気を付けるよう声をかける。 ○よい声かけをしているチームを称賛する。 ○ルールやマナーを守り、励まし合うチームを称賛する。 ◇規則を守り、誰とでも仲良くしようとしている。 【態度②】 ○友達のよい動きやフェアプレーを認め合う姿を称賛する。 ◇友達の動きのよさを見付けたり、考えたことを友達に伝えたりしている。 【思・判・表②】
<ul style="list-style-type: none"> ○ハンドベースボールの行い方を知ることができたか。 ○自分の力に合っためあてを立てることができたか。 ○動きについて考えたことを友達に伝えることができたか。 ○ルールを守り、誰とでも仲良く運動することができたか。 ○勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたりすることができたか。 ○場や用具の安全に気を付けることができたか。 	